

# 言語活動の充実が求められた背景について



国際的な調査，国内における全国的な調査などの結果から，思考力・判断力・表現力の育成が課題であることが明らかになった。また，学校教育法においても，「思考力・判断力・表現力等」が学力の重要な要素として示された。そして，その育成の手だてとして，教育活動全体で言語活動の充実を図ることが重要であることが指摘された。

それは，言語が「知的活動（論理や思考）」「コミュニケーション」「感性・情緒」の基盤であり，言語活動を通して言語に関する能力を育成することが，思考力・判断力・表現力の育成につながるからである。

## 1 言語活動の充実が求められた背景

### (1) PISA 調査から明らかになった課題と対策

項目		内容
読 解 力	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● テキストの解釈，熟考・評価に課題がある。</li> <li>● 自由記述（論述）の設問に課題がある。</li> </ul>
	対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ テキストを<u>理解・評価しながら読む力</u>を高めること。</li> <li>○ テキストに基づいて<u>自分の考えを書く力</u>を高めること。</li> <li>○ <u>様々な文章や資料を読む機会や，自分の意見を述べたり書いたりする機会</u>を充実すること。</li> </ul>
数 学 的 リテラシー	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 基礎的・基本的な計算技能，数についての感覚などに課題がある。</li> <li>● 解釈を要する設問，自由記述形式の設問に課題がある。</li> </ul>
	対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎的・基本的な計算技能の定着や数量・図形などの基本的な意味の理解を確実にすること。</li> <li>○ <u>数学的に解釈する力や表現する力の育成を目指した指導</u>を充実すること。</li> <li>○ <u>実生活と関連付けた指導の充実を図り，数学について有用性を実感する機会</u>を持たせること。</li> </ul>
科 学 的 リテラシー	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 科学的な解釈や論述形式の設問に課題がある。</li> <li>● 日常生活と関連の深い設問に課題がある。</li> </ul>
	対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>科学的に解釈する力や表現する力の育成を目指した指導</u>を充実すること。</li> <li>○ <u>日常生活に見られる自然事象との関連や他教科等との関連を図った指導</u>を充実すること。</li> </ul>

### (2) 全国学力・学習状況調査から明らかになった課題と対策（初回実施調査から）

項目		内容
話 す 事 物 聞 く 事 物	課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 話し方に関する知識（聞き手の反応を確かめながら話すこと）や聞き方に関する知識（要点をメモに取りながら聞くこと）の理解に課題がある。</li> </ul>
	対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 具体的な言語活動を通じた，話すこと・聞くことについての知識・技能の定着を図る指導を重視すること。</li> </ul>

書くこと	課題	● 説明文で述べている事柄の理由を要約すること,資料から必要な事柄を取り出して与えられた条件に即して書き換えることに課題がある。
	対策	○ 文章を要約したり,条件に即して書き換えたりする言語活動を充実すること。
読むこと	課題	● 物語の登場人物の関係を押さえて心情を把握することに課題がある。 ● 文章の内容と資料の情報とを関係付けて正しく読み取ることに課題がある。 ● 二つの文章の共通点を評価し,自分の考えをまとめることに課題がある。
	対策	○ 物語の登場人物の関係を押さえて心情を把握する言語活動を充実すること。 ○ 文章の内容と資料の情報とを関係付ける言語活動を充実すること。 ○ 文章を比べて読み,観点に沿って自分の考えを書く言語活動を充実すること。

## 2 「言語」の果たす役割

言語は「知的活動（論理や思考）」「コミュニケーション」「感性・情緒」の基盤



言語は全教育活動の基盤

## 3 言語活動の充実にかかわる法的根拠

【学校教育法】（中学校は第 49 条で準用）

第 30 条

2 前項の場合においては,生涯にわたり学習する基盤が培われるよう,基礎的な知識及び技能を習得させるとともに,これらを活用して課題を解決するために必要な思考力,判断力,表現力その他の能力をはぐくみ,主体的に学習に取り組む態度を養うことに,特に意を用いなければならない。



【小学校学習指導要領 第 1 章 総則】（中・高も総則に同様に示されている）

第 4 指導計画の作成等に当たって配慮すべき事項

2 以上のほか,次の事項に配慮するものとする。

(1) 各教科等の指導に当たっては,児童の思考力,判断力,表現力等をはぐくむ観点から,基礎的・基本的な知識及び技能の活用を図る学習活動を重視するとともに,言語に対する関心や理解を深め,言語に関する能力の育成を図る上で必要な言語環境を整え,児童の言語活動を充実すること。